

男女共同参画推進アクション・プラン

2015年度～2021年度

3つの重点目標と基盤整備の拡充

京都大学は、2006年3月に男女共同参画の基本理念と基本方針を決定し、2009年には男女共同参画推進アクション・プランを策定することで、大学における男女共同参画を進めてきました。

将来において男女が共に豊かで快適な社会生活を営むためには、女性の活躍促進はもとより男女が助け合える社会の構築が必要です。2020年度までの今後6年間の男女共同参画の推進にあたって、男女共同参画推進本部・推進センターを軸にして、基盤整備の拡充を進めるとともに、女性リーダーの育成、家庭生活との両立支援、次世代育成支援という3つの重点目標を設定し、本学における男女共同参画の一層の深化を進めようとしています。

さらに、2021年度はより実効的、かつ総長のリーダーシップを発揮した次期アクション・プラン策定のための1年間とするため、現アクション・プランを延長することといたしました。

グローバルに展開しつつある大学の大きな変化の時代にあたって、ジェンダー平等とダイバーシティ推進の視座は、大学の将来のために不可欠のものになるようとしています。

男女共同参画の視点にたった大学の大きな変化を、教職員学生全体で推進していきます。

3 【女性リーダーの育成】

つ

ジェンダーによる差別を採用人事から排除することを徹底するとともに、学生を含めた女性の活躍の「見える化」を進めることで、女性リーダーの育成を推進します。

の

【家庭生活との両立支援】

重

待機乳児保育・病児保育・お迎え保育等の拡充を進めるとともに、研究・仕事・学業の充実と豊かな家庭生活の実現に向けた日々のフレキシブルな時間管理ができるようにします。

点

目

【次世代育成支援】

標

男女学生・院生のキャリアパス構築を支援し、次世代にとって魅力ある京都大学を作っていきます。

【基盤整備と推進体制の拡充】

男女共同参画の視点からの教育・研究・就業の確立に向けたハラスメント防止の徹底や、教育・啓発に向けた推進体制を整備・拡充していきます。